

「キリングroup CSV パーパス」酒類メーカーとしての責任 オンラインで楽しむ「スロードリンク®」のすすめを公開 ～アルコールの有害摂取根絶に向けた新しい飲み方～

キリンホールディングス株式会社（社長 磯崎功典）は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて生活の変化を余儀なくされている中、家飲みやオンライン飲み会での長時間による過剰飲酒を防ぎ、適正な飲酒習慣をより多くの方に普及し実践していただくため、キリングroupが提案する「スロードリンク®」の推奨を5月20日（水）より自社HP（<https://www.kirin.co.jp/csv/arp/slowdrink/>）で公開します。

当社調べ^{※1}によると、オンライン飲み会を経験したことがある人の3割以上が、通常の対面時に比較し、飲酒量が増えるということが分かっています。オンライン飲み会は、「遠くの人や、日頃なかなか会えない人とも繋がれる」「自宅にいながら手間なく、気軽に飲み会ができる」「帰りの電車の時間を気にせず楽しめる」などの利点がある一方で、長時間の飲酒や、仕事や家事をしながらの「ながら飲み」の悪習慣につながるなど、過剰飲酒を招くこともあります。

※1 キリン調べ（インターネット調査：4/20～4/26の期間）

当社は、オンライン飲み会をスマートに楽しむために、オンライン飲み会での「スロードリンク®」を推奨します。

「スロードリンク®」とは

お酒の時間をゆっくり楽しみ、誰かと語り合いながら、食事のおいしさによるこび、ほどよく飲んで、スマートに心地よく過ごす飲み方。キリングgroupが提案している新しい飲み方です。

＜オンラインで楽しむスロードリンク＞

オンライン飲み会の良さ

- ・遠くの人やなかなか会えない人とも繋がれる。
- ・自由にお好みのスタイルで楽しめる。

オンライン飲み会の落とし穴

- ・終電や閉店時間など時間を気にしないですむので、つい長くなり多量のお酒を飲んでしまう。
- ・夜遅くまで飲み続けてしまい、翌朝にお酒が残るなど体調に支障をきたす。
- ・仕事や家事をしながらの「ながら飲み」の悪習慣につながる。

オンライン飲み会でスマートにお酒を楽しむためのおススメ

- ・必ず飲み会の終了時間を決め、適切な時間で終える。（タイマーの活用など）
- ・仕事や家事とは切り離し、「ながら飲み」ではなく、飲み語り合う時間を満喫する



当社は、長期経営構想「キリングgroup・ビジョン 2027」の長期非財務目標として、社会と価値を共創し持続的に成長するための指針「キリングgroup CSV^{※2} パーパス（以下、「CSV パーパス」）」を策定しました。

本件は、「CSV パーパス」の一つである「酒類メーカーとしての責任」を果たすべく、アルコール関連問題の解決に向けた取り組みの一環です。キリングgroupの事業環境においても、アルコールの有害摂取による健康課題など、企業への社会課題解決の期待が急速に高まり、対応が急務となっています。当社は、アルコールの有害摂取根絶（Zero Harmful Drinking）に向けた取り組みを着実に進展させ、次世代にお酒の文化を継承していきます。

※2 Creating Shared Value（社会と共有できる価値の創造）

キリングgroupは、「酒類メーカーとしての責任」を果たし、「健康」「地域社会・コミュニティ」「環境」という社会課題に取り組むことで、こころ豊かな社会を実現し、お客様の幸せな未来に貢献します。

＜参考＞

- ・オンラインで楽しむ「スロードリンク」

<https://www.kirin.co.jp/csv/arp/slowdrink/>